

## Ⅸ 野菜類の病害虫防除

### 1 野菜

#### アスパラガス

—— 発病・加害時期  
 === 発病・加害最盛期

作型・病害虫名		月											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	年目			●	●	▲	▲						
2	年目												
3	年目以降												
立 茎 ・ 長 期 ど り		◇ ハウス保温 ◆										茎葉↓整理	
茎 斑	枯 点 病												
ヨ ト ム シ	ハ ス モ ヌ ヌ												

#### 茎枯病

##### 留意事項

- 1 梅雨期と秋雨期に発生が多い。
- 2 QoI剤<<11>>、SDHI剤<<7>>は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。
- 3 ダコニール1000、ダコニールアルファに含まれる成分TPNの総使用回数は、4回以内なので注意する。
- 4 薬剤抵抗性が出現しやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

##### 防除方法

- 1 無病苗を用いる。
- 2 発病株は完全に抜き取り処分する。
- 3 晩秋に茎葉を地際部から刈り取り、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 4 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を予防的に散布する。
  - ・ [ダコニール1000](#) <M5> 【1000倍 前日/4回】
  - ・ [ダコニールアルファ](#) <M5> 【2000倍 前日/4回】
  - ・ [ベルコート水和剤](#) <M7> 【1000倍 7日/5回】
  - ・ [コサイド3000](#) <M1> 【2000倍 -/-】
- 5 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [ベンレート水和剤](#) <1> 【2000倍 前日/4回】
  - ・ [アフエットフロアブル](#) <<7>> 【2000倍 前日/4回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ [アミスター20フロアブル](#) << 1 1 >> 【2000倍 前日/4回】

## 斑点病

### 留意事項

- 1 QoI剤<< 1 1 >>、SDHI剤<< 7 >>は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。
- 2 ダコニール1000、ダコニールアルファに含まれる成分TPNの総使用回数は、4回以内なので注意する。
- 3 薬剤抵抗性が出現しやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

### 防除方法

- 1 過繁茂を避け、風通しを良くする。
- 2 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を予防的に散布する。
  - ・ [ダコニール1000](#) <M 5> 【1000倍 前日/4回】
  - ・ [ダコニールアルファ](#) <M 5> 【2000倍 前日/4回】
  - ・ [ベルコート水和剤](#) <M 7> 【1000倍 7日/5回】
  - ・ [コサイド3000](#) <M 1> 【2000倍 -/-】
- 3 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [アフェットフロアブル](#) << 7 >> 【2000倍 前日/4回】
  - ・ [アミスター20フロアブル](#) << 1 1 >> 【2000倍 前日/4回】
  - ・ [ロブラール水和剤](#) < 2 > 【2000倍 前日/5回】

## アザミウマ類

### 防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [ディアナSC](#) < 5 > 【2500~5000倍 前日/2回】
  - ・ [スピノエース顆粒水和剤](#) < 5 > 【5000倍 前日/2回】
  - ・ [リーフガード顆粒水和剤](#) < 1 4 > 【1500倍 前日/2回】

## コナジラミ類

### 防除方法

- 1 施設開口部に目合い0.4mm以下の防虫ネットを展張し、侵入を防止する。
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) < 4 A > 【2000倍 前日/3回】
  - ・ [コルト顆粒水和剤](#) < 9 B > 【4000倍 前日/3回】
  - ・ [ディアナSC](#) < 5 > 【2500倍 前日/2回】
  - ・ [アニキ乳剤](#) < 6 > 【1000倍 前日/3回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

## アブラムシ類

### 防除方法

- 1 施設開口部に目合い0.8mm以下の防虫ネットを展張し、侵入を防止する。
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [モスピラン顆粒水溶剤](#) 劇 <4 A> 【4000倍 前日/2回】
  - ・ [アディオン乳剤](#) <3 A> 【2000倍 前日/3回】
  - ・ [ウララDF](#) <2 9> 【2000倍 前日/3回】

## ヨトウムシ

### 防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [アフーム乳剤](#) <6> 【2000倍 前日/2回】
  - ・ [アディオン乳剤](#) <3 A> 【2000倍 前日/3回】
  - ・ [BT剤](#) <1 1 A> (IX野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照)

## ハスモンヨトウ

### 防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [プレバソフフロアブル5](#) <2 8> 【2000倍 前日/3回】
  - ・ [ディアナSC](#) <5> 【2500~5000倍 前日/2回】
  - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 <1 3> 【2000倍 前日/2回】
  - ・ [アニキ乳剤](#) <6> 【2000倍 前日/3回】
  - ・ [BT剤](#) <1 1 A> (IX野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照)

## ハダニ類

### 防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 <1 3> 【2000倍 前日/2回】
  - ・ [コロマイト乳剤](#) <6> 【1000倍 前日/2回】
  - ・ [ダニサラバフロアブル](#) <2 5 A> 【1000倍 前日/2回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。